

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる授業デザイン

### 学習のゴールや学び方、学習形態を児童が選ぶ

①ゴールは？	ミッション!	大きな数の「わり算」の計算のしかたを考えよう
	B	今日の間違いをとくことができた。(答えがわかった)
	A	B+ どうやって間違いをといたか、せつめいが書けた(できた)
	S	A+ 今までのわり算やかけ算とのちがいが、にているところをまとめた。

②学習の進め方は？			その他にあれば書く↓
1人で考える	友だちと考える。	先生にヒントをもらう。	

③今日の間違いがわいたら何をする？		その他にあれば書く↓
今日の間違いをちがう考えかたでやる	友だちと話しあったり教えたりする。	
計算ドリルをすすめる。		

※はじめにゴールをきめたときには黄色で塗ろう。途中で最後に変わった場合は赤で塗ろう

<学習の流れ>	
(1)	ループリック完成
(2)	今日の問題をとく
(3)	自分の考えをスキャショ(写真をとり)して、Teansに投稿する。
(4)	練習問題や④にとりくむ。
(5)	授業が終わる5分前に、もう一度自分のループリックをかくにんし、ふりかえりを書く。
	ふりかえりシート



一人でじっくりと進める



友達と協働しながら進める

ループリック・学習過程を示す



先生と丁寧に進める



図書室



教室

学ぶ場所も児童が選ぶ



必要に応じて一斉指導で示す